

■初期設定について■ P-1

◆必ず以下のチェックシートを確認し、不足が無いか確認してください。

※このパッケージリストは同梱されている物の確認の為に存在します。

欠品や破損が有りましたら、受け取りから 5 日以内にメールで問い合わせください。

=====

■ : □ : TTL-2/BOX 本体 (ラベル確認)

■ : □ : USB-mini-B ケーブル 1 本

■ : □ : CD1 枚

■ : ■ : 初期説明 (この用紙)

■ : □ : プローブキット (テスターリード) (注1)

■ : □ : スノホールアタッチメント (2 個 1 式) (注1)

■ : □ : 3P プラグ (未接続品) (注1)

(注1) 同梱品は本体仕様及びお客様指定により変わります。

=====

◆簡単では有りますが、ある程度知識の有る方を前提に説明しております。

◆付属のドライバー/ソフトセットアップについて◆

※以下の順番で付属の CD から各ファイルを選択しセットアップをしてください。

尚付属のソフト/ドライバーは Windows を例にしております、各 OS のドライバーソフトウェアは付属しておりません、ただし、ソフトもドライバーもネット上でフリーでダウンロードできるソフト類です。

=====

◆初期設定◆

[2P の設定]を参照し順番に設定してください、TTL-3/USB は汎用 USB 経由での

疑似 RS232C 式で、操作はフリーソフトのコンソールソフトで操作できます。

USB ドライバーも汎用性の FTDI 社のドライバーで WEB 上で各 OS ごとにドライバーをダウンロードできます。

◆コンソールソフトセットアップ◆ P-2

※付属の CD 内の[Tera Term]内の teraterm-4.82.exe を W クリックしセットアップを行います。

※セットアップ後デスクトップに以下のアイコンが表示されます。



※C ドライブプログラムファイル内の(teraterm)フォルダーに付属の CD 内[Tera Term]内に有る[TERATERM.INI]を貼り付け（コピー）します、このファイルは設定ファイルです、このファイルをコピーしていれば、以下で設定する USB ドライバーで COM ポート番号だけ変更すれば、簡単に利用できます。

◆TTL-3/USB のドライバー設定◆

1. TTL-3/USB と付属の USB ケーブルを PC に接続します。
2. ドライバー設定の画面が出ます、付属の CD 内のフォルダー[Windows_Drv]を指定します。

決して[WEB 上で探す]を選択しないでください。

3. 数回の OK をクリックする事で、ドライバーの設定がされます。
4. 認識されると、新たなシリアルポートができます。
5. システム→ディバイスを選択する事で、シリアル PORT/COM の中に新たなアイコンが現れシリアルポート[COM1~22]までの COM ポートができます。

※ここで表示される COM ポートを確認してください

[Tera Term]起動時に設定します。

※注意※

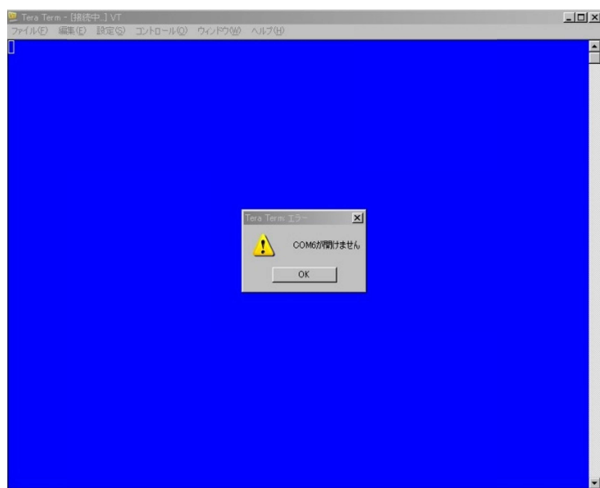
- ・ USB に接続した箇所により、COM ポート番号が変わります。
- ・ 新たにドライバーをセットアップしたポート以外に接続すると、上記のドライバーセットアップの表示が出ます。

◆TTL-3/USB 使い方◆ P・3

デスクトップに表示の以下のアイコンを W クリックします、Tera Term]起動

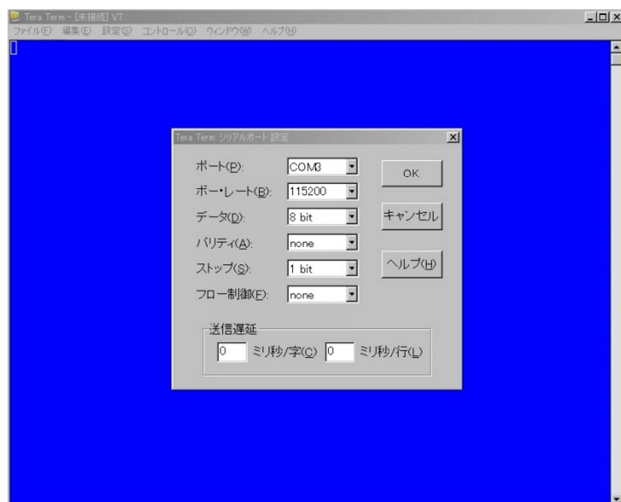


すると以下の表示が出ます。



※COM が開けません、これは先ほど設定した USB での COM ポート番号が見つからないという表示でこの後の設定により次回から出なくなります。

※設定→シリアルポートを開き以下の表示にします。



※上記のコンソール設定で[TERATERM.INI]をコピーしている場合、ポート変更のみで他を変更する必要は有りません。

USB ドライバーを設定後 COM ポート NO.を確認した時の番号に変更してください。

※尚 TTL-3/USB と USB 接続し Tera Term]を起動し、認識されれば、画面に正式表示され TTL-3/USB から（ピロツ）と音が出ます。

■TTL-3/USB 使い方■ P-4

※以下の操作方法是取り扱いを間違えると解除される PC もしくは、操作する PC を壊す恐れがあります、よく読み操作されてください。

＜初期接続＞

1. 上記載 (P2) の最後の状態 [Tera Term] が起動しメニューが表示されている事を前提に記載しております。
2. TTL-3/USB とプローブは 3 P プラグから切り離されている事を前提に説明します。
3. 3 P プラグもしくはテストリードその他オリジナル加工によって専用の治具を作り Eeprom に接続します、接続順番は GND→SDA (赤) →SCL (黒/白)
4. Eeprom 接続後、短絡ミスや接続ミスが無いか確認ください。
GND は VGA の長ナット部分などを挟みます。
5. 解除する PC の電源を ON にします、(マザー単体では解除はできません) eeprom 電力は解除される PC 側の電源を使います。
6. 解除される PC の画面もしくは外部モニターに鍵マークが表示されている事を確認し 3 P プラグを TTL-3/USB に接続します。
7. Tera Term 上でパスワード表示解析か自動解析を選択し ENTER を押します。
Tera Term 上に表示される指示に従い操作してください。
8. 作業完了の場合は必ず先に 3 P プラグを TTL-3/USB から外し
解除される PC 側の電源を OFF にしてください。
1 回目の解析表示での再起動の時も 3 P プラグを TTL-3/USB から外し PC を再起動してください、PC により 3 P プラグを TTL-3./USB に接続したままだと再起動できない事が有ります。

※ 3 P プラグを TTL-3/USB から外すと (GND、SDA、SCL) などが完全に切り離されます。

★注意★

PC の eeprom 回りには最大 20V ほどの電圧が掛かっている箇所が存在します。

これらの誤った箇所に SDA、SCL の 2 本を接続してしまった場合、TTL-3/USB 内の安全装置が働き、一時的に利用できなくなります。

この場合 USB ポートを一度抜き (外し) 再度 2 分後に USB に接続してください。

接続の有無は、パスワード解析表示を初期に行う事で、接続テストができます。

※この場合ライセンスは減りません。

◆この TTL-3/USB は Lenovo 用ですが、100%の動作保証はしていません。

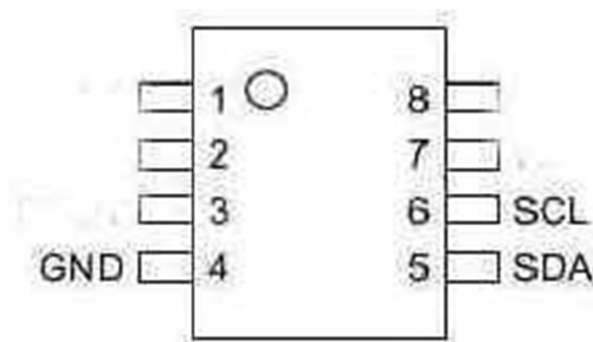
解除作業者の環境や道具に左右されるため、完全な状態で有っても不足などが有り
実際は完全な状態だったとしても、未知の BiosVer の場合も有ります。

また以下の形式は Bios 自体にパスワード領域が有ったり、eeprom が無い PC の場合
この TTL-3/USB では解除できません。

※SL300,SL400,SL500,G550、X60/s/T42/T43/Z61 などは eeprom がマザー上に無い為
解除はできません。

※eeprom の場所は当社にメールで問い合わせ頂く事で、画像添付で eeprom の場所を
お教えします。

※eeprom 接続箇所（以下図参照）



※eeprom はマザー上に有ります。（24C08 記載もしくは P08、L08）と記載されている
場合が有ります。

Eeprom に接続は 5 番 6 番のみの 2 本を接続し GND は PC 本体金属部分 PCMCIA
カードスロット金属部分などをクリップで挟み GND を取得します。

Eeprom の 4 番も GND ですが、付属のクリップでは接続できません。

※また P08 や L08 などの eeprom の場合特殊治具が必要に鳴ります。

この治具は付属の治具では接続できません。

別途販売しております、オプションクリップを利用ください。

※治具は各自オリジナルで作る事で接続が楽になり、操作性が上昇します。

Eeprom に半田はしないでください、eeprom の足の裏に半田が流れ込み
取り返しのつかない事になります。

■ライセンスについて ■ P-6

◆ライセンスの追加はメールのやり取りで即座に追加できます。

- ・利用可能ライセンス数と現在の利用回数が一緒になると（同じになると）追加ライセンスを別途購入するまで、パスワード簡略解析機能しか利用できません。

<自動解析>

- ・自動解析には2回の流れでライセンスが1つ減ります。

1回目：吸出し、仮解除コード書き込み（この作業で **Bios** が開きます）

2回目：1回目で吸い出した暗号部分を解析した結果を書き込みます。

この作業を怠ると、**FAN** エラーが出たり、**USB** ポートが利用できなくなります。

必ずこの作業を行ってください。

※解除作業中1回目と2回目の間に解除する **PC** の電源再起動が有ります。

この作業は解除される **eeprom** にとって大事な作業で、この作業を怠ると **Bios** で設定変更ができなくなります。

<PC 内 **eeprom** の寿命について>

- ・一般にメーカー仕様上 **eeprom** の書換え回数は10万回とされています。

10万回と聞くと、殆ど寿命は来ないと思うかもしれませんが。

Bios の変更有無に関わらず。実際は **Windows** が8時間起動していた場合最低でも18~20回は書き換えを行っています

これは **CPU** の温度や、各ログ情報が記録されているためです。

1日8時間使用し20回の書換えが有ったして、約5年ほどで10万回の数 comes。

※**eeprom** に寿命が来ると、データエラーを起しやすくなり、実際は書き換えができなくなります。

もしくはデータ化けを起しやすくなり、設定していないパスワードが勝手に設定されたり、おかしい現象が出ます。

※**eeprom** は1個200円ほどのパーツで現在では **WEB** 上でも購入ができる物で特殊品では有りません。

実装交換にはそれなりの実績と知識、道具が必要です。

★この機器を使って解除した **PC** や解除方法を手に入れ、解除者が悪意の有る行為に走った場合の全ての責任は解除を依頼した方もしくは解除者に有ります。

カッター製造元が、カッターは殺傷能力が有るが。

購入者がカッターで人を傷つけても製造元が責任/製造中止にならないのと一緒にあくまで **TTL-3/USB** は道具で有り使用者、解除作業者の責任下で利用される道具です。

その為当社では解除後に発生した論議や責任は負いません、この事を頭に入れて作業してください。